

市立四日市病院総合医療情報システム
統合型バックアップストレージ構築業務委託
企画提案書作成要領

令和7年7月
市立四日市病院

1. 件名

市立四日市病院総合医療情報システム統合型バックアップストレージ構築業務委託

2. 企画提案書の作成について

- (1) 企画提案書は別表「提出書類一覧」の①～⑥の順番で作成すること。
- (2) 企画提案書の用紙は、原則 A4 サイズとする。業務スケジュール等の A3 サイズが適しているものは折り込むことで含めても良い。
- (3) ②提案資料は 30 ページ以内を目安とすること（表紙、目次は含まない）。
- (4) ②提案資料の文字サイズは図表等を除いて 10.5 ポイント以上を目安とすること。
- (5) ページ下部等にページ番号を記載すること。
- (6) 企画提案書は正本・副本共に 2 穴綴じとし、フラットファイル、バインダー、紐綴じ等簡易な綴じ方とし、適宜目次やインデックス、項目のタイトルを付けて目的のページを探しやすいように配慮すること。
- (7) 企画提案書は専門知識が無い審査委員が評価するため、図や表、写真なども用いて分かりやすく具体的に作成すること。
- (8) 企画提案書は、1 者 1 提案とし、提出後の追加、修正、差換え等は認めない。

3. 企画提案書の提出方法について

- (1) 提出方法 持参又は宅配便、書留郵便とする。
- (2) 提出部数
 - ① 企画提案書 6 部（正本 1 部、副本 5 部） ※副本は正本のコピーで可
 - ② 電子媒体 1 部（CD-R 等）
- (3) 提出期限 **令和 7 年 9 月 1 2 日（金） 午後 5 時まで**

- (4) 提出先 〒510-8567 三重県四日市市芝田二丁目 2 番 3 7 号
市立四日市病院 情報処理係（電算室内）

※持参の場合の受付時間は、期間中の月曜日から金曜日まで（祝日除く）の午前 8 時 30 分～午後 5 時 00 分とする。宅配便及び書留郵便の場合は期日時間必着とする。

※宅配便・郵送時には以下を明記すること。また、必ず電話で発送の連絡を行うこと。

宛先 「市立四日市病院 情報処理係 宛て」

件名 「プロポーザル企画提案書 在中」

※企画提案書はデータを CD-R 等に保存し、電子媒体としても提出すること。

4. 企画提案書の作成における注意事項

- (1) 提案内容は「非常時の対応」及び「将来構想」の内容を除いて参考見積書の費用内で全て対応できること。
- (2) 企画提案書の提出期限までに、四日市市の入札参加資格を有しない場合は失格とする。
- (3) 虚偽の内容が記載されているものは失格とする。
- (4) 内容で疑義が発生した場合は、参加者へ問い合わせを行う場合がある。
- (5) その他の注意事項は実施要領及び審査要領を参照すること。

別表：提出書類一覧

区分		内容	様式	記載内容		部数
企画提案書	①	企画提案書 提出届	様式 5	必要事項を記載し、代表者名および代表者印を押印のうえで提出すること。		正本 1 部 副本 5 部
	②	提案資料 (詳細は下記も 参照すること)	任意	基本事項	参加者概要、業務方針を記載する。	
				業務提案	提案機器の構成・性能・特徴、業務スケジュール、セキュリティ対策を記載する。	
				保守体制	稼働後のサポート体制、内容を記載すること。	
				非常時の 対応	当院がサイバー攻撃を受けた際に提供できる復旧支援内容について記載すること。	
				将来構想	次期総合医療情報システム更新におけるストレージの活用方法の提案を記載する。	
				自由提案	他にアピールしたい内容があれば記載する。	
	③	業務受託状況	様式 6	同種業務の実績を記載すること。		
	④	参考見積書	様式 7	導入費用を記載し、代表者名および代表者印を押印のうえで提出すること。		
	⑤	参考見積書内訳	様式 8	導入費用の内訳及び運用保守の参考見積を記載すること。		
⑥	要件一覧表	仕様書 別紙 4	要件への対応可否を回答すること。			

提案資料について

1. 基本事項

(ア) 参加者概要

参加者の概要、所在地等の基本情報を記載すること。

(イ) 業務方針

仕様書の内容から、本業務の目的や事業の背景、当院における課題に着目し、他施設での事例や昨今の技術的な動向等も加味して貴社の業務方針を記載してください。

2. 業務提案

(ア) 提案機器の構成・性能・特徴

今回提案する機器の構成や特徴、採用事例等を示すこと。

(イ) 業務スケジュール

契約開始から業務完了までの業務スケジュール案を示すこと。

(ウ) セキュリティ対策

提案機器を採用することによるセキュリティ的なメリットを記載すること。

3. 保守体制

(ア) 仕様書の保守要件で示した内容に対する、本稼働後のサポート体制(保守拠点や人員等)及びサービス内容を示すこと。

4. 非常時の対応

(ア) 当院がサイバー攻撃の被害者となった非常事態において、バックアップデータからシステムの復旧が必要となった場合に受託者及びメーカーにて提供可能な支援内容及び復旧支援体制を示すこと。

(イ) 非常時に迅速な支援が提供できる仕組みがあれば提案すること。

(ウ) 復旧支援の費用は本件の参考見積には含まないこと。

5. 将来構想

(ア) 当院が令和11年1月に予定している総合医療情報システム更新時においては、今回導入するストレージは稼働から3年程度しか経過しないことになるため、現時点で本ストレージは継続使用を考えている。その際のストレージの有効利用方法について提案すること。

(イ) 次期総合医療情報システムの構成は未確定のため、バックアップ対象容量やバックアップ対象サーバの仕様(物理・仮想)といった環境面は考慮せず、これまでの業務経験や仕様書4ページ「図3 将来のバックアップ構成案」を参考に安全性が高く効率的だと考える構成案を提案すること。

(ウ) バックアップエージェント(バックアップソフト)を総合医療情報システム更新時にあらたに追加する提案を行う場合は、提案する製品の特徴なども説明すること。

(エ) 将来構想の費用は本件の参考見積には含まないこと。

6. 自由提案

(ア) 上記以外で特にアピールしたい内容があれば記載すること。